

Campus

KOKUYO NOTEBOOK

Kokuyo Co. Ltd. manufactures the campus notebooks by using carefully selected writing paper which is suitable for writing with a pen as well as with a pencil.

(F)

観測所日誌 (1)

1982. 4. 25 ~ 1985. 8. 12

1982年4月25日(日) 晴快晴

「横川駅近下見」

小諸飯沼所からの帰り、横川で途中下車し前の週(4/8)に行かなかった所を深にみようという事になった。メンバーは田中さん、[]さんをして[]である。前日に用意しておいた、20万分の1と5万分の1の地図を広げ、駅の南側を開拓してみようという事になり地図上でおよその見当をつけともかく行ってみようということになりタクシーに乗る。ざっと見積っても10キロは軽くありそう。途中の国民宿舎を過ぎ妙義山と谷山の間を通り、千駄木山に向う。国民宿舎の付近までは道路もちやんとしており何とかありそうなお感じを持たせたが、どんどん奥に進むうちに舗装は当然なくなり、道中も狭くなり、霧気もないような山奥に行く。それでも頂上にははるが遠く見晴(の良)所にはほど遠い。……が山頂とおぼしき所におちてたどりつき、ここでもまだ風が開けていないのでタクシーを呼び寄せ近くの小高い所まで登ってみたが、枯草やイバラがひどくあまり広いとはいえない場所でおまけに南西の方向に20~30°位まで山がせまっている。地理的に無理と判断、もと来た道を引き返す。

横川駅にもどって見廻行った所はどんな場所か話を聞くよりは見る方が早いという事で、歩行を行って期待を持って歩くのとそうでない時の違いは実感として感じた。(飯沼の疲れも大きかった)横川駅にもどるともうぐったり、軽く夜事をして上野へ直行。

おつかい様でした。

(a) (B)
1982年6月12~13日 残うすくも

片 20頃

「なんじやいの丘」下見

田中

先日、 氏が捜作という絶好の土地「南蛇井の丘」へ夜 星を見に行こうという事になって夜10時に「白木バニカメラ」(新宿西口)前で待ち合わせ事になった。 氏は横須賀からはるばる「ダブル」でやって来てくれたので、 田中 が便乗させてもらう事になった次第。

天候がいまいちは、きりせず果て星が見れるか不安だった。「行くだけ行けばいいや」という事で、 氏運転で峠越高速に飛び乗ったのだ。新宿から峠越入口まで約30分。峠越通過に1時間弱、藤岡インターから「南蛇井の丘」まで約1時間、合計約2時間半で着いた。

ところが途中でゆくり食事時間を取りすぎたため、現地に着いた時は月が昇り始めているではないか! 「良く見れなくて当然」と思っただけにまさしく早かったが、視界としてはまあまあ、光害の点では「いまいち」という所だろうが、それと電気を引く事が大変そうに思われた。下の電柱から約300~400M、結構、金がかかりそうだ。

1982年6月20日

晴れのち曇、のち雷雨

「富岡地区下見」

(メンバー、 、 、)

前回 何度か行ったり、地図上で千歳は場所をチェックし、そこを重点所に見て回ろうという事で、8時22分発の電車に乗る旅であった。

ところが私が上野駅ホームに着いた時は無情にも電車は時刻表通りに発車した後であった。仕方なく次の乗車で追いつき、ようやく高崎で合流した。

高崎からはレンタカーを借り、 氏の運転で、地図上でチェックした点をおいかけながら回ることにする。

最初は「アズノの里」菅原に立ち寄る。たまたま休耕地になっている場所があるが、東は山が高度10°かそれ以上にせまっている。南も同じ程度。西には山の中腹を道路が走っており、車のヘッドライトが西空を照らすのではと思われたが、候補地の一つに入れる事にした。そして次のチェックポイントに向った。そこは畑の中に小高い所があったが、すごい草やぶで、車の入れる道がないので、ここは断念する。

次は下仁田、富岡付近を2、3ヶ所回ることにし、その前に下仁田で腹ごしらえをする。

下仁田から車で20~30分程行った所は富岡市街を北東に見下す位置にあるが、途中に木や丘がわりと直接光はこないように「カ」夜、実際に星を見てみないとどの程度の影響かわからない。見晴しも良くかなり有望だ。電線もすぐ近くを通っている………筆と想っているうち雲巾さがあやしくなり、そろそろ車に戻ろうという時、農作業が、それとも他の用が近くを通りがかった人がいたので、この土地の地主の名前と住所を下すねる。雨足もかなりはげしくなり大急ぎで車にもどる。

かなりはげしい雨が、井がく来たんだから、地主に会って
いろいろの事になり、雨の中を戻すね。だが、この雨首
や計画を話し、土地を貸してもいいかどうかが、検討して
もらう事になり、ここを出る。雨は依然降りやまず。
駅が非常に近く、良さそうな所(田舎の話)があると
言う事で、ここも立ち昇る。だが、雨雲の下は、周りには良く見
ないが、向となく良さそうだ。だが、近くを関越自動車道
が出来るので、光害の点で心配だ。などと話し、井がく高崎
に向う。

電車に乗っても尚、雷雨はおさまらず、ついに電車が2つ
1時間以上の遅りで上野帰着。雷の恐ろしさを痛感。

1982年6月27日 滅晴、月命5~6日、
「鉄道に落ちたトラック」 田中

日曜というのに仕事。最後の仕上に入っているので
仕方ないのだが……
と、3が午前中降っていた雨が昼から晴れ始めて来た
のでソワソワし始めた。

先日、君の話では宮城部落の畑の上の方に
「いい場所」を見つけたという。荒地で全然耕す予定
もなく、持主もわがたというので、ゼムニリを見ながら
いざと思っていたから。また、梅雨に入ってきたばかりで
今年は陽性型の梅雨らしいので、今晚は絶対晴れる
のではないかと考えたのだ。夜仕事が一投落して、
君にTEしたところ、「ゼムニリを飲んで、ゆっくりしている
ところだが、これからはとても行けませんよ。一人で見て
来て下さいね」との返事。車路1たのが遅くなったので
仕方はいいやと思っ、一人でトラックにて飛ばして行く
事にした。候補地までトラックで新富が、約3時間、
ノンストップで行くには限界かな。

夜11時(負着いた。と、3が月はまだ沈まず、西15°
位の所にあった。それでもいて座がりの天の川は燃
えるように立ち昇っているので、じっくりしてしま。もう
1つじっくりしたのは富岡の光害だ。たまたま雲が
来たので、それに反射していたのだが、高度30°位まで
立ち上っていた。北東の空は夕焼けのようだが、それでも
東~南~西~北方向、約300°位は暗いので、一応使えるかな。

(2次レポート)

山の丘(標高400M)は夜間冷え込むように。半ソテでは寒くは、こまけので、車に戻る事にして、月が沈んで、ガス又見て帰京する事に作。とこがここで変向点を定こにては、たので大失敗をしてしまった。
「トラックで上まで行けるかな?」こんな疑問を之持たなければ「良かったのだ」。ちょっと好奇心を持、たばかりに豊盛ガス車を落しては、た。さあ、を4かい大変!月曜の朝は仕事待、ているので、JAFを呼んで、リキ上げ作業を1たり……とこも望を見るところではなく(もろくも眠る事も)

車のリキ上げ作業が完了したのが、朝6時。を4かい朝9時の出勤時間に間に合うようにと急いだ。急いだ。バンバン直又し、裏道を通り、なんとが職場にたどりつたのが9時10分た、た。

1982年7月11日

「富岡観測所予定地下見」
及び地主との交渉 (田中、)

今回は目的を絞、たので少し遅い電車で行く事に1た。上野発8時56分発前橋行である。

高崎からは実際に観測に来る時にとね之富岡までは上信電鉄を使い、を4かいタクシーで現場まで行く。富岡からはだいたいい6~17分て半1790、予定地までは車が入らないので途中から歩く。5分程度歩くと見晴しの良い予定地に出る。体耕地の広さを方向を確認し、道を引返し地主の所へ直行。だいたいい予定時刻に到着。前回報、た予定地の写真で場所を確認してもいい、さっそく本題に入る。

田中さんが資料や写真を持って来たので、を4かいで観測所の概要・趣旨を説明し、内諾を得るこができた。要点として、期間は途中で打ち切ることはないが、情勢の変化に対応できるように5年毎に更新し、広さは50坪程度を借りることとし、借賃はこの場所全部(3300坪弱)を整地として小作人に貸した場合(年約3万円)と同程度にするという事です。

1982年7月18日

高崎～豊

田中

今日の予定

- (1) 電気の引込について：下山電気と現地打合せ
- (2) 道路関係及敷地実測(概略)

この2点が主目的で一人で出かけた。

赤羽発 10:20 の急行(臨時)「軽井沢」は若い女の子で一杯で下らんデニスでもサリに行くのだらう。一足して、アノノと族とわかる連中はガリだった。

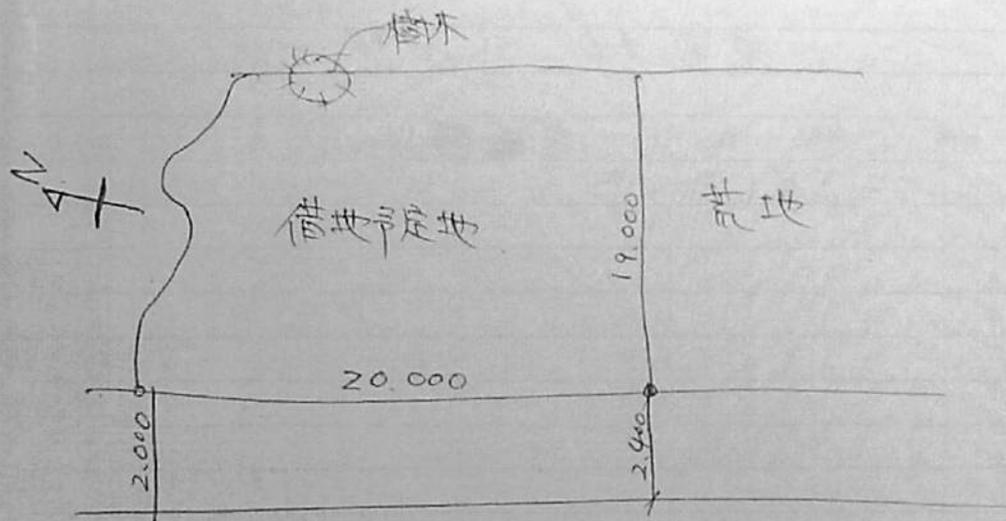
赤羽 — 高崎南 — 高崎北 — 富岡南
 10:20 11:36 12:09 12:39

交通費 山の手線 ~ 富岡
¥2050 (上州電鉄 ¥550 込)

現地には 13:30 に着いて 下山電気さんに見てもらった。感じとしてはなんとも言えない所だ。工事費 60万円までは東電が負担するとの事だったが、果して負担金なしで収まるかどうか？ 一週間位は見積りが出るらしい。

道路についてはコンクリートでない部分から約 200M 弱 M³ 計算をしてみないとわかりないうが 結構ガリそうだ。生コン M³ 当り 約 ¥15,000 にて計算すべし。

敷地については車の置場も考えると道路側 20M は狭い。これも計算してみないとなんとも言えないが 100坪近くになるのではないだろうか？



それにしても富岡までの距離の近さよ!! 小諸と比バカと乗車が全然違う。やはり近くに作る事はいい事だ。

夕オ 18:30 赤羽着。

前ページのついでに当初、東京に近くて
交通の便の良い上州、富岡あたりを中心に
観測地を捜していたのだが、大雪などの
点でどうも会に入らず。

急変!! 急変!!

一路上越、東北、~~関東~~線まで広げて
さがしてみることになった。

そして、ついに捜し当てたのが、福島県いわき市
の山奥であった。

そして、いよいよ決定
「いわき天体観測所」として建設を始める
ことになった。

1983年 9月23~24日 天気 23日 曇り 一時快晴
24日 雨

上野7:20の急行とまわで田中さん [] さんの3人で出発。
水戸に8:50に到着し、向えに来た高橋さんの車で9:20に出発し
R349を通り、途中東館駅前食堂にて昼食、12:50に観測所
予定地に到着。 [] さんと [] さんの勿来に食事に行ってくるとの
ハリ紙がしてあった。さつそく、草刈などの作業を開始。
3時に [] さんと [] さんがもどつて来た。
5時ごろ、 [] さんと [] さんと [] さんの3人が翌日仕事の
ための帰る [] さん田中さんと3人でやつて来るはずの市村さん
をほんまに帰るのであろうかと心配しながら待つ。
1時すぎに市村さん [] さんが到着し、市村さんの車で
勿来に行き、食事をして最終電車でやつて来た西村さん
を駅で向え、もどる。そしてビールを [] のみながら
田中さんが子午線をたす。
翌日は朝から雨。作業もできず、 [] さん [] さん市村さん
は勿来の銀行に行く。その間、地主さん井戸屋さん電気屋さん
が来る。市村さんたちがもどつて来て、今日の作業をあきらめ
帰る。 [] 帰りの車中にて。

1983年 10月9-10日 天気 9日 雨時々曇り
10日 曇り一時晴れ 夜 曇り

8日の夜 埼玉を出発する予定だったが、雨のため9日の朝に変更。
天気の方も予定では9日の夜は晴れる... はずだったが、何故か
天気はくまのりばかり...。前回この来日時もそうだったが、こゝに
来るまでに、台風の話がもたれる。いつか誰かが台風をよこすんだ!
(... 市村先生は私のことを雨女ではないかと言っている... でも「星空への招待」
では晴れたいか!! 私せめて...)
9日 P.M. 1:30頃 市村さんと私は、私の愛車「MIRIAM」で
観測所予定地に到着。 [] さん、田中さん、 [] さんが到着
12:00。 [] さんから [] には 棚倉の観測所へ見学に行く。天気が悪い為
観測所の方は来ないから、管理員の方の好意で車ドームに入ら
せられ、お話をうかがう。何せかドーム利家の方がお利あ金の人が
いるみたい...。この私の感想。空は、こちら観測所の方がみはらしがいい。
"以前 棚倉の観測所の方が ~~いい~~ 面白いとは、Eいる。違ふんではないか"
ほどという声もあつた。
2. 見学から帰る。1時間ばかり 乗る作業 (私は 2台に買物。せめて
用意しておいたものを忘れたから...) [] さんから、いよいよ食事に行つた。
早く台所が [] だと、不経済といけません。ホント!
夜... ちよとE 酒盛り (私は飲めずじまわ...) Eに、 [] へ、お別れ。
#10日 6:30 コリコリと 起きる。(田中さんは 最後は ぼぼじまわ。)
インスタントの朝食をすすせ。さつそく 作業開始。本役に [] さん [] さん...
皆々。明日動けるには [] さん [] さん。ゴロウタイ = 64ウツ... 田中さん
言いますが、くまのりも 本体は下切に。

+ おまわり +

1/29(日)

今回も... 2夜目。前回は雨が降ったが、今回は雪。
やはりX-15-1の中に「雨果」がある? 6.47。
2.5 雪雲を抜けた M-13。火星土星 ETC... 足元が。
非常に寒かったけれど、楽しい 11月30の一夜でした。

西村

1/27(金) 10:30AM

他人人下り 1日早く 1/27(金)の夜にきました。快晴ではあり
ました。積雪のため、小屋まで行けず、結局、道路に自動車を
おいて、小屋まで、木又板之道を7分ほどから、なんと1時間半ほどかか
り下り着きました。^{手廻り地点に下り}(60mほどの距離でした)。翌日は腰痛と筋肉痛
で苦しみました。星を早く観望したい一心のためは、おそれい
いで、その朝朝に東や西の空に望遠鏡をぶら下げていました。
翌28日夜は、午後から天気が急変し、夜には一時は大雪。後数人は
何時頃か、13時下り新田に、と云い返り来たか、下り
観望に用意をたけて、旅費を1万円ほど。... 12時^{見かた}と11時を
過ぎた。翌29日には、5人か、2人下りた。(大雪で、ゴキウタイ)
朝には晴れと思いましたが、おろりおろり雪が降り、満足は度し
なく、^{おろり} +12の唯一の望みです。

味 重 晴 雪
3/28(土) 4(日)

今度の観測には、目標が2つあった。1つはクローンリン彗星。暗いながらも、久しぶりの彗星らしい彗星である。もうすでに光度はピークに達しているはずであった。2つ目は、それを写真にとること。

さて、入学試験の採点で疲れてはいたが、年休をとって3連休とし、(こういうところが、私の職業のいいところ。融通がけ、行ききくのです。転職の場合は候補に入れて下さる……)勇躍、車を出かけたのである。

近年にない大雪が、関東にも降り、危惧はしていたのであるが、やはり来てみると、観測所あたりは、1メートル以上の積雪であった。太陽が沈んで間もないこともあり、シャベルも用意してきているので、車から降り降雪のように、身長と等しい雪の壁に圧倒された。2、3度、雪シャベルを突っ刺しただけで、建物を歩くことの不可能なことを知り、涙を流して去ることにした。翌日、来ることになっている西村さんには電話で連絡をすることにした。

朝時過ぎ、実家(家の実家が、白河の関の近くにある)へたどりつく。農家であるので、寝るの時間が早い。私は自分のために用意した食事をひとりで食べながら、窓を覗きこむと、メンバーの電話番号を知らず、~~返~~返っていた時、あの雪の中を、10ノビと走り、自分の車のあかしを姿の頭をぶらした。何とかしては……。天候に任せた。何となく、と思う。ワラは何かの思いで電話をしたが、金曜日の夜のこたから、やはりいなかたのである。家人に連絡の件を話したが、その夜は、とうとう連絡が入らず、翌日は、ほろほろと命かけて、夕暮まで出かけたのであった。

土曜日の夕方、天候の悪化と、あの雪のため、全くムダである一晩を過すために、西村さんは現れた。一応、状況を説明し、実家の方へ来てもらうことにした。途中、夕暮の駐車場で食事をし(暗闇の中でカレーを食べたのである)していると、雪がチラチラと風情ありけに舞い降りてきた。夕暮のつもりで観測所の様子を西村さんに見てもらったが、車を走らせたのであるが、途中で左へはなれて、大隅に降内さるらされた。結局、11時近くに実家にたどり着いた。

実家の融水にこたをつくり、星界の話をしていたが、天気は回復しようもないので、眠ることにした。朝、山行の日が来た。眠かされたのであり、義父の話によれば、朝方、満天

の星を見た、ということであった……。

日曜日、西村さんは死んだように眠っている。全く動かぬ。疲れてしまったらと思え、気にもかけなかったが、義母の方は死んでいはいではないかと、本気で心配していたのであった。

夕方、せっかくこたまで来たのであるが、暗れていたから、度々でもいっからクローンリンを見ようと思ったが、とうとう明けの暗くなりはじめたら雲が来てきた。

帰途中、星羽利務所あたりで、快晴に近くだったので、車から降り、西村さんの双眼鏡でクローンリンのいるあたりを見たが、それらしいものは何もなかった。やはり、7x50mmで見えるはずの光度だとしても、人間の精神的な状態が、観測に対して、十分、緊張したレベルでいかならぬ見えない結果にはなっていた。結局、あきらめて、東北自動車道で帰るのである。雪が止まらぬので、山に降り、西村さんを桶川駅で見送ったのは、11時を過ぎていた。後方の3日間であった。

4/2 (月)

午後1時頃 観測所 近くへ到着。途中雪がないので、期待していたのとは異なり、これは見事に裏切られ、50cm (40cm) の雪が小屋まで積っていた。またしても雪である。しかし、今回は、前日 (3/2) のように引くことには雪が少なければならぬので、夕方までに何とか荷物を運ぶ道をつくる。ヘルメットを買ってよかたとしらじみ思う。5時頃「貫通」。空は明しく雪がまじりか。トネルを掘ったという感度の音がピクピクする。そんな心境であった。

暗くなる前に荷物を運び入れる。内訳は、何と、車以外のもすべてである。車から小屋までの雪の中を、往復する姿は、実に神々しいものだったと思いたい。(20cm 直径、10cm 厚さ、食器、水タンク、星図、自炊用具、ボックス、机と椅子、小皿1組、毛布2枚、スリッパ2足、ライト、その他アタシのグッズ3つ) 早く、更始が完成し、身体ひとつで来るこたがでたら、これ以上楽なことはないと思え

夜は快晴。しかし水蒸気が多いせいか、コントラストがそれほど悪い。

クローミンは予報位置に見えず。コントラストのせいか、暗いか。一昨年、左にアケラミコ彗星は、同じように予報位置の時、極川で見ることができた。それが、この地で見えなるとすれば、予報より暗いか、恒星状に近いが、コントラストのせいで見えないか、それか原因不明だが、天頂付近では、11等級に近い星雲が見えていたというのに。

11時頃、朝方の観測のため、眠ることにする。誰か11時前に行っているように感じられたので目が覚めた。ネズミの顔の上を走って行くと、

朝方、外に出てみると、快曇りであった。

教訓 暗くしているのに寝るのはいいけり、好天は逃がしてはいいけりといふことを心に命ずる。

4/3 (火)

天気予報に外は曇り、とりにくく雨とりので、夜には期待できない。寝ておく必要もなさそうなので、一日中、読書。商売場、本を讀むことが多くなり、21時半に帰宅。夕飯(読書)のようにと思、21時半に帰宅。今日は、長期にわたるため、あの前日携った「星図科大事典」を持ってきた。(11時頃、大まかに星図科状にもなるとして、このままにした。) かなり星図科も読んだ。予報位置にあるか、よくできている事典と、いいと思う。基礎的な知識があれば、おかしな事はないと思、そういう意味では、初心の人は、星座の略記号やギリシア文字、アルファベット、星図等を予報位置に当てて、読みかきおいた。最近の日本の天文雑誌は、変光星のところに、略記号(星座)を使っているが、()で括弧いから添えた方がいいと思う。自然に覚えることができればいい。

夕飯、外に出てみると曇り。しかし雪が薄いので、外に出たら、と思う気持ちもあり、昨日の今日、でもあるので、今夜は眠りながら、夜を明けようとする。

4/4 (水)

午前2時頃まで本を讀んでいたが、外に出てみると雪が切れていようなので、部屋の電気を消して寝た。少し寒いもの、急遽に快晴に向かい、感じながら急いで望遠鏡をセットする。暖かい寝巻を脱ぎ、観望。

予報位置に IRAS-10141 星雲を捜すが、それらしいものは見えず。11等星を23等星は見つかるのだろうか。クローミンという、IRAS-10141 の、少し自分自向に鏡を持つた子をえない。23等星は、よく見えていたけれど...

貴重な暗天ということもあり、私としては、写真など撮りたいが、自分の眼で見ること以外に感動があるか! (おもしろい写真は、驚異という表現の方がいい) 明け方は、サザリ座からいて座の星雲、星図を視望。小まな球状星団のかなりある。星図と固定するのをやめて、視野に入ってくるのを順に望んだ。接眼鏡をターレットにしてあるので、240倍まで変えられるから、複数は、即座にわかる。

火星を望んでいるうちに夜が明けた。

5/5(土) 7:12 PM

市村

天気予報がややはずれて、上記の時間になっても雨は降っていない。逆に、薄雲があるというもの。3明けとともすかすかしい趣きで西の空にかかっている。時折、聞こえてくるのは、ジェット機の爆音だけである——
ナ〜とと、格調高く書き出したが、これは、何も書くことがなく、しかも、書くことを強いられているシレンマのなせるわざである。

5/4(金) 夕刻 大田原で、おいしいヒレカツ完食を食べていたら、突然、天気が回復してきた。どうせ、今夜は、だめかもしれないと思っていたのでせめて、食事だけは、と、思っていたのを食べていたのである。これは大変、というところで、観測所へ急ぐこと。2時間近く、9時少し前に、あの雪の恨みの場所へ着いたのである。

観測所へ着いて、中をのぞくと、 さんが、寝ていた。(暗れているのに……) しかも、何というか、ニテフが毛布をかぶって丸くはっていた。一種異様な事態に驚いてはみたものの、よくよく見ると、ふんの上には、ニテフがあり、ニテフの板の上に、何と下に敷いていた毛布がのっかっていたのである。これは、ニテフを知らない、田中さん(九州の生まれらしい。最近結婚したので、暖房の心配もないという)と、 さん(雪国の生まれらしい。ニテフより酒で身体をたためる固桶のせいか、ニテフを所有したことがないらしい……)のしわざであるというにすぎない。

さて、ハヤ山の一晩は、どのようにして明けたか？

晴れたと思えば、一転、全天かき曇り。酒でも飲んで寝ようつもりでうらめしげに空を見ると、あ、雲ひとつない、いい天気——というわけで、写真は撮れず、酔いはよわる、星はあがり、 さんが寝た。そして、麻呂めくらのさつきり曲とともに、ゆが太陽は、東の空をかけたのぼってきた。(私は、左ききです！)

5/4~5/5

今年初めてのいわきである。しかも5年間のペーパードライバーであった私が、一週間前に買った中古車(53年式 スカイライン 2000GT EX フル装備 AT車)で、恐ろしいと言わずに高速を110~140km/hで飛ばして来たのである。今考えるとよく無事に着いたものである。もともと、帰りがまた心配であるが……

今回のいわきは天気が悪く、テレスコープを半分組み立てただけで天文活動は何もできなかった。(ほんとうはたとえ晴れても組立セッティングガイドなどというめんどうな事はもうやりたくないのである。一早く観測所ができてほしいものである。)

4日 PM 10:30 田中さんと二人で里美牧場に観測に来ている高橋製作所のメンバーに会いに行った。

他にどんな事を今回やったのかについては他の人の記事を見てもらうとして、私個人としては都会での毎日の仕事から開放されて、いわきの何も無い所でとにかくホーツとしていられる事に、この上ない快感を覚えるのであった。次回はいつ来られることであるか、今の仕事では……

転職?!

いけき天体観測所

建築資金計画 (1984.8.19)

1. 基礎工事(ピラー)	}	¥400,000-
2. " (建物基礎)		
3. 木工事	{	¥500,000-
	{	¥400,000-
4. 屋根板金工事		¥170,000-
5. スラッドルーフ鉄骨工事		¥400,000-
6. サッシ工事		¥270,000-
		<hr/>
		¥2,140,000-

大工さんの鈴木さんと打合せのため電車で
やってきました。

上記のように予算を立てみたが、これでも
完全な予算オーバー!!

これをどうまとめるか。これが、問題だ!!

④ 外壁サイディングボード ¥300,000-

基礎型枠(木) ¥150,000-

便所、廊下、電気配線

④ 借入 ④ 費入 ④ 木工 1台

基礎型枠
足場1017°
サイディングボードカバー

8/25(土) 日快晴

田中

小屋到着は夜中の2時、途中 暴走族、キョオにバック!!
いけきの道りは初めての道には未知への冒険!!...
小屋へ着くと輝く夜空の星と対面、宿所の風景...。(天地は逆さ)
寝るに聞きの音が拡大し、4時頃までじ〜と耐えて
きた。それには主人の困った顔、足でベッドに元氣な
朝7時起床「ア〜! 熟睡マダ!!」 「.....」
アストロネートのボイラー〜 来てても、やっぱり 来てもらうのがいい。

3/26 日 → 天気 うち雲 雲空 夕 夕 雲 夕 夕 小 雨
PM 5h 30m

PM 12:30 到着. 今回は 一人車 で 穴畑 の 手 使
と 観 測 を 兼 て や っ て き た が 田 中 さん が 依 頼 し
た プロ に よ る パ ワ ー シ ャ バ ル に よ っ て 穴 は 掘 ら れ
結 局 何 も せ ず 見 物 し て い た た け だ っ た .

3 時 半 こ ろ 市 村 さん 一 家 が 到 着 .
4 時 半 に は 今 日 の 予 定 の 作 業 を 終 了 し 田 中 さん

は 帰 京 . 市 村 さん 一 家 も 5 時 ず ぎ
帰 る . 市 村 さん は そ の 後 一 人 で 浄 土 平 に 行 く
と の 事 . 今 夜 の 天 気 予 報 は 豊 明 日 も 曇 っ て 晴
間 も あ る が 雨 の 降 る 所 も あ る と の 事 . そ こ で こ れ が
ど う し よ う か 思 案 中 . こ の ま ま 帰 る か 泊 る か そ れ と も
浄 土 平 に 行 く か . そ れ が 問 題 だ .

パン を 食 べ な が ら 夜 の 高 速 を フ ッ 飛
ば し て 帰 る こ と に す る . PM 7h 15m

田 中 さん .

1. 昨 日 . こ の 山 . 高 取 土 地 へ 行 っ て
こ の ま ま 山 を 登 り ま す .

昨 夜 (3/24 金 曜 日) は . 10 時 頃 まで .
け . 雨 が 降 り . 天 気 は 雲 の 中 へ
感 じ て し た . も ち ろ ん 雨 は 全 然 が け .
夜 の 10 時 頃 . 音 聲 が し り . 雷
が 打 ち 込 ん だ .

お 中 . 一 人 だ け だ が . さ ん じ
お 中 . 音 聲 が し り .

市 村

3/25 朝 6 時 半 .

8月28日~29日 晴時々曇り

9/23

またまたやってきました。中一日あけてのいわきです。天気が良かったのでPM3h35分に出発しPM8h20分に着きました。それから望遠鏡の組立セッティングを行い、途中田中さんがS TELがあったりモーターのコネクターの接点修理などをしていたので最初にシャッターを切ったのはPM11hになってしまいました。写したのは、こぎつね座新星、高見沢彗星、りゅう位いで、AM2hには雲が流れてし写せなくなりました。ところで初めていわきの真空を見ましたが今一步がなあという感じです。(浄土平の方がちはSしい)やはりいわきは秋から冬にかけての観測地だと思えます。

1/24

教訓?

1. 今回、まったくの一人だったので家からテレビを持って来たが付属のアンテナでは何も見えなかったやはり大型のアンテナを立てなくてはだめらしい。
2. いわきは浄土平より遠い。家から浄土平まで休み時間を入れて4時間15分だった(道は歩いていて)ところがいわきまででは4時間30分以上、どうしてもかかってしまおう。(地図を見ていただけではわかるが浄土平の方がはるかに遠いの!)これは家から柏ICまでの6号がいつもこんでいる事、いわきまでの118号が一車線でも1時間50分はかかるためである。ちなみに家からいわきまで片道225km、高速代、ガソリン代、食費代を含めた一回の費用は1万6,000~7,000円かかる。

29日 PM12時すぎ 帰る

INFORMATION

40cm(16吋)光学系について

1) トータル費用はどの程度の子算とするのか

2) 口径およびFは40cm/F=5でよいのか

3) 鏡筒回転装置は必要なのか

1) a) なるべく低価格で所員の負担は軽くしたい

2) a) 主鏡材はバイレックスで良いのか

b) 光学系はニュートン焦点だけでよいのか

c) レデューサーは、使用可能にしたい (高橋製作所, etc)

3) a) 鏡筒部分はクリックストップ方法 (90度x4ヶ) にして写真, etc と

色々な分野で使用できるようにしたい

9月中旬より田中氏より電話があり、自分なりに、原案の原案といったものを今回まとめさせてもらいました。できれば年末までに資金のメドをつけて光学系の仕様書作成、発注し来年の夏にはハレーをキャッチしてみたいものです。

実は、この原稿を作りおわって昨夜、古田氏へ電話した所、田中氏は持病で入院したとのこと。期間は2週間程度ぐらいだろうという話し。観測所の年内完成は、大変むずかしくなってきましたが、あせらず着実にいきたいと思ひます。

西村/記

8月28日~2

また良かった
天気が良かった
行く。途中、接切
コネクターを切
写したの。AM.
位いた。AM.
ま今一歩かなあ
ちば(しい)や
観測地だと更
敷。
1. 今回、まったく
来たが、付属
大型のアプテ
2. いわきは、時
時間を入れ
と、3がいわ
かかっつてしま
得土平のちが
までの号が
一車線
ちなみに家
がソリン代、食専代を含めた一回の費用は、1万6,000
へ7,000円かかる。
29日 PM 12時すぎに帰る

食専代を含めた一回の費用は、1万6,000

10/24(水) くもり

市村

9時、少し前に到着。空は、少しエヤカがかかっているようで、星は
見えてはいるが、2等星くらいまで。天気は期待できそうもないが、
1人になるので、土曜あたりまで、居続け、静養していいと思う。

4月から休みなく777(1-1)に出ているので疲れがぬけない。膝も
痛い。アキレス腱も何とかつらんでいる。そんなわけで、家裏からも逃げ
て、人気がない観測所(静電地)へやってきました。

食べ寝。本を読んで。と、1人での休日を楽しもう。
(学校は、テスト中でため、代休と有休を取ったのです。)

ここで、1人きり、というのは、とても寂しいものだろうと思ひます。
8/4の西村さんは悲劇的ですね。せめてラジオくらいはいいと、ネ。
おのぶに、家財を背負、しているような人間ではないと、ここはつらい
でしょう。

しかし、今、外は木及を瘦子風の枯木にさゆめき。
とれくらい空間に、自分は1人でいようか。

10時30分頃、あの西村さんから tel。
人恋しまのわかる人ですね。

10時40分頃、[redacted]さんから tel。
やさしい人ですね。
外は、1等星が見えてくる。
といつか、長電話してしまいました。

10/25(木) くもり → 快晴

市村

午前中は曇り。天気予報では、快回復の見込みはなさそうである。
星を見れないのに、后子のほ、ちよと妙な光がするが、静養可
子には、よからうと思う。居ます。アキレス腱も痛くない。

3時くらいから、晴れ間がみえてきた。西北~北の空は、「快晴」。その日は、
以前も、夏の風が、たとき、北側にだけ晴れているということがあった。この
天気の特徴もわからない。透明度抜群とはいえないけれど、一か
午後5時現在、快晴である。望遠鏡もセットして、望遠も
用意して、あとは夜になるのを待つだけである。

夜になると、たしでも入った。何回も言っちゃおう。快晴ですヨ~~~~
さて、食事でもして、夜にさなえよーか。

星は全く無いたと、薄く、エヤカがかかっている。透明度が、かなり
悪い。10等級の星雲が、何とか見えた。11等級は、今日は見えない。
それでも、みずがめ座の NGC 7293が、大きく、見えてくるので、2/3は
いいな。基準にして、11等星の、浄土平1577の所から、文を
ついでに、間違っているのかも知れない。(LOW、それにして浄土平の
透明度が、おぼろしいと！来年は、絶対に行かたい！)

夜食をと、たししたから、3時頃まで見えた。おとすに未知の銀河
が、たしと、たしと、たしと、たしと、たしと、たしと、たしと、たしと、
朝方、雲が、うすく、広がった。

※ 夜部屋へ戻ると、テーブル上の食糧の一部が、な(な)つて、た(た)つた。とつた
不足では、ないか、と思ひます。おとすは、た(た)つた。

11/22 (木)

本日も ☁️ 快晴。

卒業生の車で、棚倉のスーパーまで買い出し。何と、30分。夕やがわり減っているのが、よくわかりました。おとんと、焼肉。ととも、1人1時には、作る気がしません。

夜、部屋に灯火がほまるので、スモールライトを買って、取り付けておきました。慣れると、とても便利です。

Very 1等星の 8等星ということなので、捜したが、見つからず。やがて、10等星で見出す。2つくらい小さい星でした。微光星が数多くあるので、注意しないと、すくに見失ってしまいます。

夜、マス星は、大まかに移動して、少し見にくくなっている。快晴とはいえ、少し透明度が落ちてきている。

風が少しあったが、さもないが、雲も全くつかない。しかし、寒さは可なりなので、防寒には気を付けた方がよさそう。

希野

11/23 (金) ✂️

もう、いやになりくらの快晴です。

しかし、夜、夕食後、かんがりにしているうちに雲が出てしまいました。天気予報では、明晩は、全く夕入りなので、西村さんから話を聞いた時、明日の来訪は中止とする。

雲がうすくかかっているようだが、空が暗いので、星団がよく見える。一応、レドームの望遠鏡を出して見ていると、雲がさらに濃くなるが、この晴かたが多く、夜半をすぎると、全く暗くなってしまった。低空は、モヤがかかると透明度も悪い。しかし、中天～天頂にかけては、けっこうよく見えました。

星々のつぎ合いは、人におて、星団だつたが、私の場合、天川を低倍率で観るこじが、一番楽しい。星団が入ってくれば、ターゲットを回して、倍率を上げて観望。特に星団と照合はして。裏ささし何とかしのければ、一晩中ても飽きないよう守ります。

朝方から雲りはじめたので、就寝。

11/24 (土). 昼頃、片着けて帰る。

希野

1984年 12月 24~26日

天気: 快晴
最低気温: -12°
時々微風、霜降りず

またまた行って来ました。いわき/
(観測所日誌ノートがなかったのて1985.1.1. 自宅で書いてます)

今回のいわきは私にとって1984年最後、7回目となります。

24日 観測史上最低気温(-50 何ん度?)のシベリアからの

寒気団がやってきた中、PM 2:50 自宅を一人で出発、
(クリスマス無波)

一人だったので省エネ運転に心がけながら高速を120~

130kmの定地安全ドライブ。R118(いいワ!)に入り

碓 付 付近になると路肩に雪があるではないですぞ!

雪道を運転した事がないので心配しながらR289

に入り、段々路肩の雪の量が多くなって来たので、

いつものガツ飛びはあきらめ、スピードダウンし、路面の

凍結や雪のふたまりに注意し、なんとかPM 7:50

ルカーンで観測所の前の林道まで来たのですが、

観測所までの100m近くが除雪してないため、深い所で

積雪30cm近くあり、チェーンを装着しても古くとも無理

そうだったのて、そこから荷物を運ぶハメになった

12/29(土)

市村

(左側は、12/24(月)に来ていた [] さんへお返事です。)

11時頃到着。^{シベ} ーントもな^り来るとがでたので、ヤア子、小屋まで、突込
たいが、雪のつま、30cmも雪の上で、タイヤがからまり……。
1時間ほどかかって、チェーンを引いて脱出。(バカなことをやってしまった……)
3時頃、荷物を運ぶから、食事。

(今回は、カーボックス1個、長クレープを1個もたてました。)
食後、コーヒーを飲んだら、[] さんが残り1つだけ、おスレト入の菓子
食べました。(おの、青酸入、って聞いてはうね)

本日は、25日から来る予定だった人が、家族が病気のため、大急ぎで帰ってしまった
[] さん、[] さん、[] さん、全くのキャンセルといえし、お返事をしませんが、本人
昨日まで、熱をこらして寝ていたとです。

と、お返事。今日は、外は快晴。少しでも健康に気がつく、覗きしよらう。

今日は、20mmのミニットカークレインをもたせました。その性能テストです。
スーパーホリス仕様の、ローグタイプで、自宅のベランダで覗きしよらうという、その
的発想から購入したものです。はたして、どんな映像を見せてくれますか。
モニターの正立天取アリスムもテストしてみる予定です。

[] さん、田中さん、西村さんからtel。こぎつね屋の新装のこぎつね屋を知った
けど、カメラは持っていないので、撮影はできません。(申し訳ありません。)

暗くなりかけ頃、^{セルロイド用} フィルムを作りはじめたが、なかなかできない。やがて
上った時は、ま、暗。7mmカメラは、お粗末で、かなり手を入れたら、作らない
じである。

1984年12月24~26日

天気: 快晴
最低気温: -12°
時々微風、霜降りず

またまた行って来ました。いわき/
(観測所日誌ノートがなかったため1985.1.1.自宅に書いてます)

今回のいわきは私にとって1984年最後、7回目となります。

24日 観測史上最低気温(-50 何ん度?)のシベリアからの
寒気団がやってきた中、PM2:50自宅を一人で出発、
(クリスマス無波)
一人だったので省エネ運転に心がけながら高速を120~

130kmの定地安全ドライブ。R118(いいワ!)に入り
橋付近になると路肩に雪があるではないですが!
雪道を運転した事がないので心配しながらR289
に入り、段々路肩の雪の量が多くなって来たので、

いつものか?飛びはあきらめスポーツダウンし、路面の
凍結や雪のふきだまりに注意し、なんとかPM7:50
4エーンで観測所の前の林道まで来たのですが、
観測所までの100m近くが除雪してないため、深い所で
積雪30cm近くあり、4エーンを装着してもちと無理
そうだったので、そこから荷物を運ぶハXになった

のです。満天の星空の下、雪に足をとられながら
運ぶこと一時間近く。そして望遠鏡を組立る前には
カメラ三脚だけを出し、固定で星座写真を撮りながら
組立、セッティングを行い、その間田中さんに電話
したり、ベロベロに酔った西村さんから電話が来る。

今回いわきに来たのは、一月に獅子座天文研究会で
冬の星座の話しをするためのスライドを撮影するのが
第一の目的だったので、TS-160Pにカメラ2台をのせ、
シャッターを切ったのはすでにPM11hすぎでした。
温度計はすでに -12° を指し、カメラの構図を決め、
シャッターを切る間しか私は外に出ないでコタツの
中でラジオを聞きながら食べたり飲んだり(酒ではない
コーヒーですよ!)していたが、AM3hになると荷物運び
で疲れたのが眠くなり、せしにラジオが聞える!クリスマス
の話を聞くと何んで山の中で一人寂しくケーキも
食べずにクリスマスを過ごさなければならぬのか
(ケーキが食べたい、女の子がいればなあ〜)と思うように

なり、酒を飲んで寝てしまいたくなかったが、また星座写真は写さなければならなかったし、天気が悪くなると言った大義名文がなかったのでも AM5h までガンバリ、酒を飲んで
ラダXですね「分」ですね市村先生にしがられそう
で AM5h30m に寝ました。

25日 AM8h30m 顔と、手袋をした指先が^冷たく、目をこまます。そして、いわき冬景色のスナップを写し、農協で飯に、前回市村さんが置いていったジャワカレー大辛をかけ食べる。これが非常に辛く、体が温まりました。それから、夜にそなえて寝ようとしたが寝れず、ボケーとしていたうちに早くも夜、自由雲台を短反12cmに交換し、ピント合わせなどこまごましたことを準備し、その晩シャッターを初めて切ったのが PM7h30m。フィルムがフジワロール400だったので、一瞬間露出が多く、26日 AM5h まで写したがコマ数はわづか数枚であった。

しかし夜が長いですねえ。AM1hを過ぎるともうウンザリといった感じ。夜食なんかは、ラー×Vパン、ガンバレ玄米、カレーライスと何と4食!

その他、コーヒーやお茶を飲みながらお菓子を食べてお腹がおかしくなりそう。そして AM4hには冬の星座もほとんど沈み、M81.82を最後に写し、酒を飲んで5h30mに寝ましたが、また寒さに AM9h前には目がさめ、望遠鏡を片づけ、PM12h30mに帰路についていたのでした。

20cm ニートンの短焦点で低倍率ばかり使っているせいか、望遠鏡の方は、いろいろ物足りない、80~100倍の中倍率にせよ、イメージは似ているものがあるが、低倍で使用できないのが欠点のようにも感じる。やはり、この器械は、中~高倍の月や惑星を見るのが Better だろうである。

ニートンの短焦点に比べると、像の明るさは欠けよう、観察には、あまり向かないように思う。

17時頃の仰角の諸星、望遠鏡は、中下方向に可なり。私の場合は、ベータ星から、月や惑星を見たり、学校で見せたりできそうだが、それ以外のことや考えたり、あり、メカニクスは、いろいろです。

夜半頃、雲が広がって、午前2時頃には快晴、朝方には、^{最高}シーイング、透明度、コントラストも、申し分ない状態にいた。地平線から10°くらいの高さに、11等級の小宇宙のハッキリと認められる。雲が石川には、コントラストもよく厚いと思われる。

17時頃は、天気図も「晴れ」であるが、雲が出て、朝方には、晴れてくると予想可。

朝方、レベール・ルージュ彗星を8等と観測、前回の不透明彗星よりも、かなり感してあるが、よく集光して、集中度の高い球状星団のようにした。

12/30(日)

市村

午後1:30 起床。

食事をしてから、仕事。(仕事は、放射線研究で、ここでもできるはず)

夕方、世帯から、奥庭に来たのは、近頃は、よく電話をしてくる。

暗くなるまでに、望遠鏡をセット、天気も、再び仕事。

望遠鏡の外気には、まだ少し待って観望。月が明り下り、星雲は見えない。天の川を流す。微かな星団も、視野に入ると、美しいは、何となく、

最後に、月を見せたり、24Xでみると、この迫力が取れる。

その後、食事。(カレー、焼肉、コロッケ、お味噌汁、お漬物、お茶)

8時に食事おわり。お風呂も、最後に、お風呂を浴びながら、一服、11時半まで仕事。月が、沈みかけて、夕暮れと、紅霞と、

12時頃から観望。冬の銀河を、下でみられた。星雲と対照する、アンドロメダ、たまた、見子の外。毎度、白銀の天体を、みることが、あり、のびのび。

2時半~3時半まで休息。熱いお風呂で、暖をとる。

4時半頃から、雲が出て、5時には、東南の地平線を、残して、ベタ曇り。地平線の、すき間に、望遠鏡を向くと、アンタレスと、M4が入り、M4の、後縁と同一視野に見え、たまた、やはり、この、望遠鏡、いいですね。

12/31 (H) 天候

天候

午前 11時 起床。

食事と読書と仕事。

夕方、雲が多いので、月と金星が見えず。20cm 望遠鏡を手に観望。
400倍で見た月面と金星は最高です。金星は思った通り、高倍率で月面
星観察には有効な telescope のようです。金星は、半月状ですが、輝度の
低下が感じられ、一様に見えたり。

観望のため、アイピースの遮光板を作成する。材料などはすべて持ってきて
るので、時間をかければ最適なものです。

6時すぎ、東北電力の人が来る。月と金星を見せて取りたり、感激して帰って
いく。

9時頃まで仕事を終る。

10時頃より、月がきれいすぎて寝ることにする。紅白を聴きながら、ウツウツラ……
外の雲間から星が見え感じだが、夜半には晴れと確信していた。

12:00 (0:00) に寝る。孤独なクリスマスを、ここで過ごした
人だから、寂しいが、よくわかっていらる。私自身は、ひとりであるこ
とは苦にならない。しかし、人恋しさは、やはりある。電話をしても、
話題がそれほどもあるわけではなすが、話している行為そのものが、
カタルシスであるのだらう。

食事をして11時頃より観望。70mm の 28mm のエルフレは使えず
せん。36mm のネジ山が、36mm のドーナツと、視野がケラれます。
7-レフトレイルバーでも同じ。40mm くらいのアダプターが必要でしょう
今夜は、おとめ座の星雲団の観望でしたが、何か何やら、もう、何がわか
らないうちに、全くあきらめてしまっていました。もっと、大きい口径で
見ると、もっと見えたりする……(ほんと、考えておきます。)

明け方近く、レールデンの彗星が、8等級 5' で見えておりました。

1/1 (CR) 天候

天候

皆さん、明けましておめでとう。

元旦から寝ております。快晴、空が窓を通してよく見えます。今夜の
天候は、まだ、心配から、眠るだけです。

夜に、また雲ひとつなり快晴です。セレストロンで月面の観望。絶景
夜中、田中氏から tel。 [] 氏からも tel。正月に、たったひとりで
ここに来るのは、私くらいのもらしい(と、 [] の言葉)。

1:30 まで仮眠。食事をしながら、観測。快晴で、どこを見れば
いいのかわからず、迷うくらいです。

とりあえず、セレストロンで、かみかけ、おとめ座の銀河団を観望。アイ
ピース、いいものをつかえば、この器械は、このように使えるのです。

明け方近く、レールデンの彗星を観測。1度ほど移動している。250倍
で観察したが、特に異常な点はなく、ただの彗星でした。やはり、
太陽に近づかぬと、おもしろいものがあります。M13 を 250倍で見
ると、星だらけという感じで見えたことがあります。土星も美しい

しかし、何となく、水星を「D」の形に、はっきりと見えたのは、今日か
はじめてです。本当に中倍～高倍にかけては、セレストロンの倍は
おもしろいと思われます。

後(水)。

眠らないうちに、帰ることにします。しかし、片付けが大変な労働とな
り、足腰が痛々です。今月末に、誰か来るかもわかりません
が、一応、全部片付けて、1-2 をしておきます。

皆さん、今年も頑張ります。1/1 の完成を期して!!

1/14~15 再び厳冬期の、いわきへ

市村さんと事前の打合せ通り、14日夜9時すぎに、埼玉県桶川駅で会う。一路、東北自動車道を北上。今回の観測の目的は、2つ。1つは来年のハレー彗星の現地での見え方。もう1つは、斉藤さんの"光害"問題。あれこれと思案のうちに、途中、棚倉でチェーンをつけて午前2時半ころ現地着。積雪は10cmほどか。路面は、アイスバーン状態であった。朝日牧場の丘の上には、月、星も2等星までなんとか見える。冬型の気圧配置が強過ぎる為か、雪が山を越えてとんでくる(という表現がぴったり)。とても星を見ようなんて気は起きない。早く小屋の中へ入ってコタツへ。やっぱり酒だ。室内の気温は、外と比較しても、やっぱり同じ。もちろん、皆さんの想像を絶するような厚着。今回は、田中さんのマネをして寝袋の中に電気毛布を入れて、寝た。おかげで快適睡眠。

でも翌日、起きて見ると、前夜グラグラの湯が、バリバリンの氷になっていたのは、アゼンとした。もちろん外は、青空。市村さんと散歩がてら朝日牧場の小高い丘の上まで一回り。風景は360度OK。カノープスも良く見えそうだ。来年の3~4月、南天の天の川の中を行くハレー彗星も充分見えそうだ。

夕方より20cmニュートンと、セレストロンの20cmをセット。21時頃までは、北西より雲が流れてきたが、それ以降より快晴。なを、ここは飛行機のルート下になっている為、広角レンズで星野写真を撮る人は、21時半頃まで時間に注意のこと。

'84Sシューメーカーは、光度11等。20cm肉眼でのほぼ限界か? シュミ・カセは、純ニュートンに比較するとコントラストは低いものの、コストパフォーマンスは、ばつぐん。東京で月と土星を見る人向きですヨ。

さて、斉藤さんの"光害"問題は、たぶん雪明かりではないだろうかとの結論に落ち着いた。昨年の1月下旬に続いたの厳冬期観測は、やっぱりしんどかった。でも今年末よりハレー彗星は、ここで見る予定。

東京から電話してくれた田中、[]さん、それに市村さん本当にありがとう。

西村/記

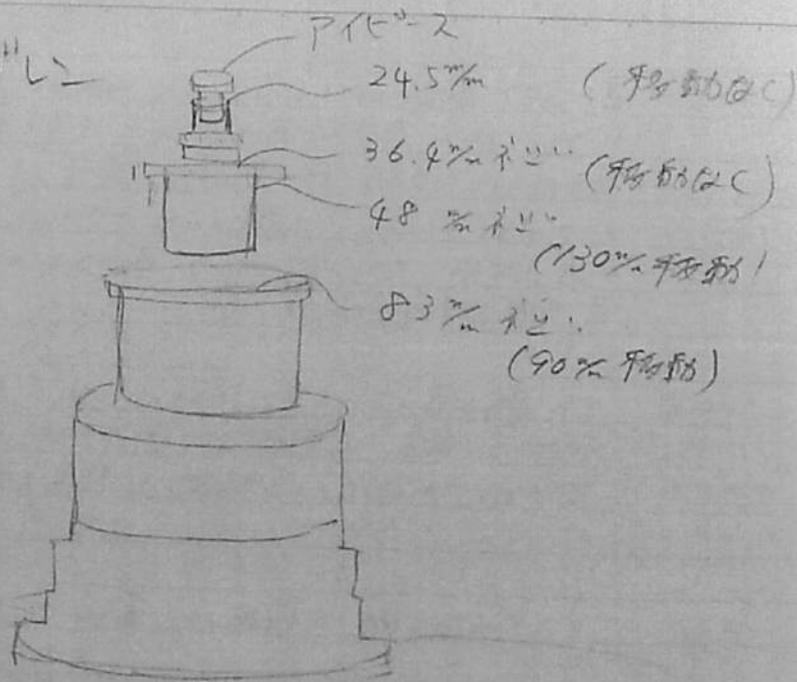
U. 1/14 桶川駅で会う。一路、東北自動車道を北上。今回の観測の目的は、2つ。1つは来年のハレー彗星の現地での見え方。もう1つは、斉藤さんの"光害"問題。あれこれと思案のうちに、途中、棚倉でチェーンをつけて午前2時半ころ現地着。積雪は10cmほどか。路面は、アイスバーン状態であった。朝日牧場の丘の上には、月、星も2等星までなんとか見える。冬型の気圧配置が強過ぎる為か、雪が山を越えてとんでくる(という表現がぴったり)。とても星を見ようなんて気は起きない。早く小屋の中へ入ってコタツへ。やっぱり酒だ。室内の気温は、外と比較しても、やっぱり同じ。もちろん、皆さんの想像を絶するような厚着。今回は、田中さんのマネをして寝袋の中に電気毛布を入れて、寝た。おかげで快適睡眠。

1/14 桶川駅で会う。一路、東北自動車道を北上。今回の観測の目的は、2つ。1つは来年のハレー彗星の現地での見え方。もう1つは、斉藤さんの"光害"問題。あれこれと思案のうちに、途中、棚倉でチェーンをつけて午前2時半ころ現地着。積雪は10cmほどか。路面は、アイスバーン状態であった。朝日牧場の丘の上には、月、星も2等星までなんとか見える。冬型の気圧配置が強過ぎる為か、雪が山を越えてとんでくる(という表現がぴったり)。とても星を見ようなんて気は起きない。早く小屋の中へ入ってコタツへ。やっぱり酒だ。室内の気温は、外と比較しても、やっぱり同じ。もちろん、皆さんの想像を絶するような厚着。今回は、田中さんのマネをして寝袋の中に電気毛布を入れて、寝た。おかげで快適睡眠。

1/17 夜 西村 記

1/17 夜 西村 記
 桶川駅で会う。一路、東北自動車道を北上。今回の観測の目的は、2つ。1つは来年のハレー彗星の現地での見え方。もう1つは、斉藤さんの"光害"問題。あれこれと思案のうちに、途中、棚倉でチェーンをつけて午前2時半ころ現地着。積雪は10cmほどか。路面は、アイスバーン状態であった。朝日牧場の丘の上には、月、星も2等星までなんとか見える。冬型の気圧配置が強過ぎる為か、雪が山を越えてとんでくる(という表現がぴったり)。とても星を見ようなんて気は起きない。早く小屋の中へ入ってコタツへ。やっぱり酒だ。室内の気温は、外と比較しても、やっぱり同じ。もちろん、皆さんの想像を絶するような厚着。今回は、田中さんのマネをして寝袋の中に電気毛布を入れて、寝た。おかげで快適睡眠。

40cm口径の
持眼部



鏡筒

1985年3月16~17日
ミカガ光器訪問

1985年3月22日(金) 天気 快晴 → 曇 →

本日はいよいよ4月から工事再開するので、業者との打ち合せを主を目的に「いい」に墨を見るためにやってきた。

夕方はピーカンの快晴だったのが、PM9時ごろから雲が広がり始めてしまった。せっかく又眼鏡(12cm、ニコン製、[redacted] 所有)を持ってきたのに残念!

望みは明日の朝 2~3時頃起きて、明け方の空に期待するほかない。

さて、建物の入の計画だが、今回で、きて打ち合せを十分行ったので、なんと4月1日(月)から着工できそう。

とは言っても基礎関係、外壁などはすべて自分達の手でやる予定にしているのだ。ミニドイ事は覚悟しなければならぬだろう。

3月31日(日)の東京での打ち合せが終った。その足で又ここに来て基礎の捨て工打ちを4月1日(月)にする予定だ。

田中 [redacted]

1985 4 7~8 焼バ煙→雨

いよいよ工事再開のため、道具一式積んでやってきた。

7日(日)朝、水戸の[]さんと運搬を取りあつた所、彼が一定先に行き、作業しているとのことだったので、作業内容を伝え、頼んでおいた。

高速道路が日立南までうはが、たため非常に楽になった。私の家から飯沼所まで約3時間半。

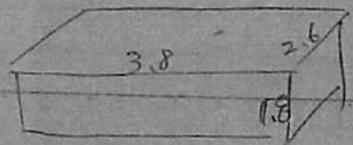
午後1時ごろ現地に着いて高橋さんと穴の整地などをやった。

その後、彼が帰ったあと、割栗石の敷きつめを夕方までかか_{おこ}って行った。

8日(月)は朝からドシヤぶりの雨。それでも生コンは打たねばならず、雨カッパを着て9時から作業。

10時に完了した。

さて、これから帰京することにした。



1985 4 20~11

天気 うす曇り(春がすみ?)

今年初のいわきです。20日 AM 8:30に新大久保で田中さんのトラック(15t)に乗り、足場を組む鉄パイプとありがらの朝がち?!の中、つみ込みエスにそれをいれターフ借りた4tトラックにつくし、僕は秋葉原へ工専用の電球ソケット、プラグコートを買って家に一担帰り、田中さんは4tトラックでエスに他の物をつむため川崎、越谷と行ってからいわきに向う。僕は家で望遠鏡を車につみ、PM 2:40に出発。新しくできた三郷ICで高速に入り、120km/hで進み途中、食事をし、4時間後のPM 6:40に到着した。
(以前より30分位速くなつた)
そしてすぐにソケット、プラグをコートにつないでいるとPM 8には田中さんが大きな紙のつつ(ピラーのコンクリートがため用、φ900、φ1,200、長さ4m、重さ100kg?)をつんできて、すぐに2人で荷おろしを初めたが、紙筒を小屋の中に入れようとした悪戦苦闘してようやくPM 10:00に全ておろし、田中さん!

すぐにレンタカーをもちしに東京にもどる。

その夜は晴れているにもかかわらず、すく雲といおうか、
春がすみがかかっている。下の方の星はほとんど見えず、
天頂でも5等星位いたった。いわきの春はだめが、
21日 AM 11:40分に田中さんと[]さんが来る。
さっそく作業にとりかかる。PM 1:30 田中さん[]
が作ってくれたおいしいおにぎりを食べた後、今これを書
いてます。今日は作業が何時までかかるかわからないが
終りたい。僕と古田さんはすぐに帰る予定。田中さんは
一泊して明日、コンクリートを流すとの事。

それにしても田中さん、まったくご苦労さまです。

1985 4 21

いよいよコンクリートピラーの基礎工事が始まった。

人差し指がたがったので、突然田中さんの車で

いわきにきてしまった。朝5時半頃電話で

起らせられ急いで来たので、車も早く起こされて

ゴキゲン斜め道から予定より1時間半程早く来て

くれた。ここにきてびっくりしたのは直径1.2mの紙筒だ!!

こんな大きなものを何人にも建てたことが少く不安だが

これをやりやれば赤道儀は上にのびるのだ。

これを目の前に立てて出来上りも個々に思いつく。

今日はいじめ基礎工事の仕事さな位だったか。

おれもせいぜい、こんなことに大変なものは知らなかった。

私と[]氏は夕日帰るが、田中さん何んて

御苦労様です。頑張ってください。

1985年4月22日(月) 天気 晴れとちどき曇りの雨

昨日は []、 [] 両氏 呼びいを得て、ベース
筋の配筋と足場の一部をやった。

本日は 朝9時から夕方6時すぎまで足場組
を一人でやることになった。足場を組まないと
鉄筋も建てられないし、クレーンも設置できない。
昼休み 40~50分を除いてほぼ一日、足場
を作るのに費した。

夕方5時ごろから寒くなってきたし、霧雨
は降り始める(で)。イヤになってきたが、今度来
た時、すぐ作業できるように(ておかぬは)と
思うと、仕方なしでもやらざるを得ない。

夕7(土)の深夜にでもクレーンの建て方をやり
たいが、果して人数が集まるか? 最低6人は必
要のようだ。

PM 6:30

田中政明

1985.4/28(日) 天気 くもり 市村

PM 6:45 到着

0:50に学校を出て途中、東館駅前の食堂で冷たいラーメン
を記念に食べて(あ、人には買われない量でした)、何とか
到着。一般国道をけで、たいたい5時間くらいでした。

天気か回復しないときは、このまま泊らす。浄土平へ直行しませう

双眼鏡は確かに、持って帰ります。安心して下さい。

と書いて、少し、1Fんでいり、西村さんから知らせ。

東京は快晴に近いらしく、で34F、14Fに残り、春の空の様子を

調べてみた。というので、結局、20cm反転と、12cm双眼を拜儀

1での観望の用意をしておく。11時ごろから曇りかたはしれ、12時

には快晴。1カレ、全体に、相対的空で、冬の透明度がつかない。

低空は、10°くらいまで、夕。

私の眼は左が0.2で乱視のため、双眼鏡のピントがうま

合はぬ感じ。2'くらいもの(α、M57)は、明瞭に判別しにく

た。慣れはあつた。20Xという倍率によるのかもしれない。透明度は

3:30で夕。体調不良。野鳥の声が美しい。

PM 7:00 2-3から雨がホッホッホッふり出し。今は本降り。本当は
おす。ジョリットを打たれたのがどうなるか。PM 11:00
本当に体力のげんかの色かんじた4日間であった。
給。

1985 5 11, 12日

天気: 晴れ

12日 AM 1:45 m 西村さんと一緒に到着。

AM 2:00. 田中さん [] さん, [] さん着。

AM 8:00 より作業開始。

後はただひたすらに。目-はのりくたくたにつ
かれた。ボールペンを持っ册て書く事も
できない位いた。PM 5:00 すぎた帰る

1985/5/18(土) ~ 5/19(日) 星旅人

5/8 南千住を12:30頃 [] 君の車に乗り出発!!
はじめてのいぬき天体観測所行きにむかう!
期待と不安がいりまじった複雑な気分で、どのくらい進んでいるのか(はじめてなので、電話で進捗状況をきいてはいるのだが、やはりこの自分の4つの目で確かめてみないとわからないので)。

念中、昼食や買い物をした関係もあるし、高速を使わなかった([] 君が「金欠病なので」)ので、10:30に観測所につく。うーん、遠いなあとと思うけど、急がぬ旅なので、疲れはない。運転もしていないし。

車中はもっぱら [] 君と車の話。どんな車に乗れば女の子にもてるかが中心となった。やはりソアラが「いいらしいが、ちょっと手が出ない。プレリウドあたりがいいのではないか」という結論になった。

ついでに、太いコンクリートの円柱が二本たっている。あの上のぼって星をみるのがなと思ってしまった。田中さんはまた「作業をしていました。が、腹がへってるので、早く帰って下って、夕食を食べに行く。きつい曲り道が多く、気分が悪くなってしまい、せっかくの刺身定食をいまいちおいしく食べられず、残念。

帰ってチューハイを一本ずつのんで、ねる。カエルの声か「スゴイので、なかなかおもしろいと思ったが、疲れているので、おもしろい。と思ったら、デンプが、~~22:30~~ 22:30頃なる。西村さんから「そうでした([] 君が出た)。またおなほし!

はじめて「作業進捗状況」をみて、~~思った~~ ~~感じた~~ ことは、まだ「これだけか」と感じて、(何も今までしていないので、こんなこと書くとおこらぬそうですけど)。入院してなければ「もっとこれ(ただけ)」。着実に一歩一歩前進しているのだから

もう少しだなとも思いました。いつもきている田中さん他に作業にたずさわった方々、本当にご苦労さんです。星のほうには「雲」がかかり、せっかく、双眼鏡をもって見たのに、みることも出来ず、残念でした。

5/9 朝起きたら、雲で、これでは雨が降るかなと思ったら、晴れ上り。作業に、6:30頃が、ちかちか(起きたのは5:00頃、きのう早く、まじめに寝たので)。

まずは、紙パイプをきり、コンクリートの円柱から、はさみ作業。それから、足場を、はさみ、石を入る。そのあと、蓋に、砂利をいれる。書くと

たまたま、4ヶ所行だけですが、これが、慣れぬ作業なので、なかなか、キツイ。明日、会社へ行けるのか心配。(はって、会社に行くようになるのでは!?)

ここで「帰る時間となりましたので、突然で「おつかい」
グッバイ! また、来ます!

乱文乱筆、おきつ下さい。

来訪者 田中氏 [] 氏 [] ([])

1985. 5. 19.

新井

またまた、4月から4度目です。
工事内容は左ページを読んでくださり
とにかくつかれました。(金もなくな)
ましたので、しばらくはこれないかもしれませ
ん。PM 4:30. m 車を洗車して帰る。

1985. 5. 25 (土) 天気 台風(雨) 豪雨

新井

下館を6:20に去る。途中おむて、おむて
しようがないので、二度昼寝をしました。

10:20にヤ.と到着しすぐに土台工事。
角カッパにゴム長でセメントを基礎に流した。
生コンも2台入れたので割合早く終わった。(12時)

私は5月3日以来2回目の奉仕です。また、
仕事(本業)の合内をぬくまでみず。

それにしては外はすごい雨。雨というより
滝の下にいらみたい。

15:00. 雨がまたやんだ。風が吹いてきた。
今日帰らなければならぬ。早く帰りたい。
パンプの中までセメントがこぼれてます。もう世
田中さん一人残して私は先に帰らせて
頂きます。おしからず、ゴメン!

家のオフロが作ってくれたお風呂が
うかった。感謝!

コンクリートの円柱の上へ登って風景を拝んだ。
おけらしい 視界 ほぼほぼ360° 空 空 空...
快晴の皇空が待ちどおしい。早くホシい~?

5/25 PM 10:00

今回は子つれ 5時に上野を覗いて7時25分
かま着 十分ほどまって田中さんにお会いしました
谷風 せつ近の中 せつの子のあじょうおと田中さんに
聞いた。せつの子のうてい いまのえと来たのはこの
かーかま着くと小、雨が降って山道を登り
はじかると そのすぐの雨 土が少くすれを心
配したかす ちゃんとあ 無事につく そのすぐの雨
がケツの水をさびりかえしたという にはうけか
あ子が そんな生やうしいものではない。うていし
てい声か 聞いたととと子ほど トタ屋根にあたり
雨の音はものすごい 80ホとくさいはあまたうらう。
あすは雨であか2右うらうと思ふ。コクリの型も
くつくりをかつかうとあうらう。

5/26 PM 4:30

朝 4:30分です起床 息子と朝のさんお
前の道をすつとありて行くときれいな広葉じゆり
んに出して小鳥の声かとととすかすかした。
うていすにわあて オツコウの声かにせせかたつた。
9時のう作業 前日の雨で土がコクリートの上に
流れ込んだので それを洗い流す作業あすはし
めた。その後市村さんと西村君が9時半です
とさすか。市村さんは、コクリートハスに油を
ぬり作業。私はトタエ切り。せつの子の作業は手か
いれあう。

5/26
たのしかつたまふたし

5/26

前夜、学校の飲社会があったため(とちろん私の飲んではいません。) 9:45に
桶川駅で西村君と合流して、家用の定家へ行く。 0:15に到着してみ
て、話をし、2:00に就寝。

5:30起床で、犬と遊んでおき、朝食。あつ眠れなかったため、おたふ
しはら、力仕事をしていないので、腰が痛い。とと 年齢を感じて
う。一日であつた。

とと さんと同じ。子つれ。犬づれでやってきたた。墨かや犬た
とと 疲れた。

3年上の担任をして、たため、忙しくて、あつや午位までいって
ません(← とと 心花しいと思ふ、このうてい)か、あつと1回
はせつの子にまたとと、思ふていす。

おもしろいことが多くあつて、あつていられないか(市村)

5/26 (A)

5月26日(日)、至りて、(A)日、また仕事。
11時までにこつと、5人ほどは作業あつた。また、20本の
えん。体が痛くなったととはあつた!!
あつ。管線所の受取か、またあつた。

1985. 6. 1 (土) ~ 6. 4 (火) 田中

6. 1 (土)

今日の作業予定は基礎型枠組と基礎コンクリート打ちの予定

自宅を出るのが22時頃だが、川崎の吉田さんの所へ振り金を預る銀行まで行ったので、夜とこ3、24時までいてしまった。さらに悪いことに、今回、LPガスの缶が空で来たため燃料不足になってしまい、途中、燃料にて、車中で仮眠するはめになってしまった。

6. 2 (日)

何となくもLPガスを車に食わせないことには現地に行けないうえ、タカシ一社に行きLPガススタンドを費してもう。朝7時過ぎはじめて、またやってはいるが当然で、日曜日は午後2時から6時まで営業などいのかをたのみ込んで、LPガスを入れてもらった。このようにして、今回は大変な思いをしてようやく現地に着いたが、作業要員が、私一人のためになかなかはかどらない。

6. 3 (月)

今日中に型枠組みを完了させて、コンクリートを打ち込んで帰るのは、運搬が運ばない!!、と思うと、1枚に柱に頑張りざるを得ない。しかし、生コンを打ち始めたのが午後5時になってしまい、それがやが大変、地主の豊田さんと生コン会社の人、2人の応援もあり、7時頃ようやく打ち込み完了。しかし、上層のなすし作業があるためとうとう夜間作業となった。電灯を2ヶ所車のヘッドライトをつけて作業したが悪いことに9時30分、大雨に降ったので、途中で中止。11時ごろ雨もやんで再開したが、作業終了は午後4時頃、雨もやんで11時頃

1985 6 15 16

16日 AM 2:15 到着

カカカ-----感謝です

ナナ-----ント、観測所が

できているのではないですが、夢の様

です。計画から3年3ヶ月にしてやっと

形だけでもできたのです。また骨組

だけですが、ここまでくれば完成したも同じ

です。さつそく西村さんと二人だけの建前

をやって獲ました。AM10:00 田中さんと

さんが到着。土のモルタル、コンクリートの

型わくのそうじをして PM3:45 帰ります。

6/16.

4度目のいわさぎ。午前 2時15分。
空にC30. ちい。建物が芝に11分。
大倉町。11分。早く帰る。
大倉町。11分。早く帰る。

25年6月16日 (日) 晴

今年3度目のいわさぎです。今回の朝早く東京に
出て10時過ぎに到着。(昨夜と違って) 早朝
3時頃西村紙よりいわさぎに着。2建物を見大
感想を電話で受けた。何かかと思つた。
"柱が空に屋根ものかつていて、一戸建のまはじい
寂れをた。観測所には見えな"と感ゲキの
一撃が入った。私としては何となく乗り合ひで居た。
今回のいわさぎ行きの電話があつて早くこの眼で
見たくてた。...

朝早く2回つたが"いわさぎ"の近づくにつれて
空もよくなり観測所の工事もやりやすかつた。
先週はエカゲに行つて完本向きの赤道儀を
見てきたので。

同上。

田中

骨組みだけができ上つてきた。

あとは外壁、トイレ、お風呂、金が金かたは。

資金の×ドをなんとかつけねば...

1985. 6. 28 (金) 雨

今日は平日の金曜日

けさ いわきの大工さんと電話にて話をしたところ
この梅雨のため雨が観測所内に吹き込んできて
2階の床がびしょびしょの事。さらにこのクマが
もうさび始めているらしい。外壁を剥がっているの
で当然のこととはいえ、心配になってきた。

幸い(?) 今日は雨のため私の仕事が明日になった。

そこで、平日ながら車を飛ばしていわきにやってき
てしまった。

途中でビニールシートを買ったので、到着後すぐに
外部をシートでおおうことにした。聞いていたと
おり、2階の床が雨でびしょびしょになっていた。

これらの作業が完了したのが夕方6時頃

これから大工さんの所へ行き、今後の打ち合わせ。

ついでに夕飯もこちそうになった。

大工さんの方の支払いはいはローンでもいいとの事で

1年ローンで毎月5万ちょっとになる。(50万借りた場合)

最後の手段としてはローンも考えねばなるまい。

夜中00時すぎ 帰京。

田中政明

1985. 7. 7 (日) 雨→(朝)晴

けさ、水戸をAM5:50に出発。久301に到着した。水戸では
雨がふり、自宅が濡れたと友人に、おたふしは雨かふり出し
た。カートを着て仕事をしようと思ったが雨がやみそうにならな
かたので、待つことにした。10時頃雨がやんだ時、田中さんが来た。
車を入口に止め、おたふしだったので急いで道路の入り行く途中、小庭
の前で八幡さんと合った。242ではおたふし? と思ったのでおたふしに
ゆきかけた。おたふしもおたふしはいいよと、午前中に、おたふし
おたふしに合った。おたふしは夕方までおたふしとゆうことになった。
おたふしはおたふしに合った。仕事の日は、建物内部の土壁
と、玄関のコンクリート換気口を地ならしをした。今日は3時に
仕事を終り、おたふしから帰ります。おたふし、おたふしのお
たふしおたふしおたふしおたふし。PM3:20。

1985. 7.7 (日) ~ 7.8 (月) 夕焼けの晴れ (大の天)
川口川下館+星里人 新井川川下館
19:00 到着 田中さんに会いにきたら
おで、今年はず回目です。今日は7月7日。
全国的にたなびた"て"す。西空の夕焼けが
とってもきれい! 文しふりに、アルタールとへかが
夜空にテート出来るかな?

夜、下界へ降りて、夕食(焼肉定食がうまい)
田中さんはナンゴ、ラーメンライスの大盛!!

21:00 深谷建研へ行きお金を16000円
支払った。22:00 田中さんに鈴木大工さん宅へ
行き、今後の打ち合わせを田中さんがしていた。

なせか、私はとがりで奥さんと世間話をしていた。
23:00 に廻り廻り小屋へもどる。外は星が
いっぱい。ヤッター、木星が目にしみるな~。
とやあえす、完成間近のいわき~所を見ながら
ビールでカンパ~い。24:30 におやすみ。

by J. Arai.

大雨

1985. 7.8 (月) ~~大雨~~ 曇り小雨の曇り

7:30 起きた。巨大なアリムンが私の顔を
行ったり来たり。昨夜買ったパンと牛乳で朝食。
外は相変わらずの大雨。
10:00 すぎ、足場を組む作業開始。
ゴムのカツバにしみとある^男 北有三部の
メロディにのって、土を仕事、う〜んなかなか
板についてきた。おれカマオコかいな。
12:15 ~ 約80分 昼食(朝残したパン1コ)
これが行くこのサンパンかな。
13:30 すぎ、作業再開。雨が降ったりやんだり。
でも、16:00 フラヤ(終わり)した。
今度来る頃は梅雨も明け、いきなりヒートン。
あついたらうな。
それでは皆さん、また来週、お会いしよう。

by J. Arai.

4/3 海は ~~曇~~ 人少く風強い。1時頃平たい海か？
少々心な味で帰ってきた。夕日は例におよ青空の煙肉
定色。年900他。

8/6 既、田中と豊田さんが来た。Xシを色々いって。2000円。
言葉に甘えて行ってきた。カーンと一本。2000円。
8時頃に帰ってきた。豊田さん。豊田さん。豊田さん。豊田さん。
南へ向かう。豊田さん。豊田さん。豊田さん。豊田さん。
いって。豊田さん/田中さんのTEL。お。豊田さん。豊田さん。
350型赤茶色。豊田さん。豊田さん。豊田さん。豊田さん。

2000円。3000円。豊田さん。豊田さん。豊田さん。豊田さん。
豊田さん。豊田さん。豊田さん。豊田さん。豊田さん。豊田さん。
豊田さん。豊田さん。豊田さん。豊田さん。豊田さん。豊田さん。
豊田さん。豊田さん。豊田さん。豊田さん。豊田さん。豊田さん。

30A(火) 午前中は、山を降りて静、静に思います。
夕度は、8月11日(土)の(通商)。酒は、ホドホドして、星と豊田さん。

夜半

8/3.4 晴→雲→晴
3日 PM 1:10 豊田さんと共に南へ出て PM 7:20 着。
古くに高坂宅に預けてあったPC125を取りに行き、初めて
観測所のピラーの上に組み立てた。そして月齢17日の
月、土星、木星を観望し、写真を撮るうとした。雲が
出て来て、ハイそれまで。豊田さん。豊田さん。豊田さん。
当然 飲むべきでない！ 豊田さんの飲む事飲む事。
ビール 350cc 缶3本、1L缶1本、2L缶1本(内私が2L缶)
ナント合計 約4L! これには驚いた。そしてAM3:30
寝る。4日 AM 9:00 に来る予定の田中さんが来たのは
結局 0:00 豊田さん。豊田さん。豊田さん。豊田さん。
ドラゲインで 昼食を食べ PM 3:10 帰る。

60. 8/3. 4

斎藤氏と来所。

当初の予定では今ごろ長野県で開催されている流星会議に参加しているはずだったが、仕事の都合で2日から参加出来なくなったのでとりやめて斎藤君からの誘いにより来所することにした次第。

FC125でみる月、木星、土星は写真よりすごくすばらしいながめでした。

これから作業に入るのでこれで終わり 記 8/11。

60. 8. 10-11

オートバイで、雨雲をつれて来ました。ここは初めてなので、道にも迷~~ま~~いましてしたよ。

これからこの雨の中を黒磯まで行きます。ア・イヤダナー。

1カ・ヨハク

60年8月10日~11日

高橋典嗣

10日 PM 11時30分ごろ観測所着。 11日 AM 11時ごろ

40cm鏡の副鏡調整、ピント合わせ、月を見る。

60. 8. 10~11日

90%? 完成したものの主観観測計。共同作業。ここは完成したものを協力に2万感謝した。11時30分に着いた時の夜は20時差の月。天の川が輝いて見えた。会場の見物も楽しかった。大満足。

新築二のりペー

田中、高橋、羊次、荒井、佐藤、吉田、西村、高橋、田川、赤村、新井、斎藤、三浦

85. 8. 11 85年度総会 於NH2観測所

○ 役員 { 新井 西村 } 承認
{ 副会長 斎藤 志 }
{ 会計 吉田 基 }

○ 会計報告

訂正 11月26日 NO. 22

工具費 742600 - 157113

収支計算 84. 12. 31 現在 750000 - 入金 (種別不明)

入金一覧

入金
106,200 -
利息 19,700 -
振込 2770 -
現金 338,974 -
計 491,874 -

支出 計 159,9510 -
現金 3,319,394 -
今度の支出分 3,700,000 -
マケス 400,000 -

券類・文・支払
シカゴ星見の要項を24日26日
カニバを返すこと

○ 工事完了

= (天の川、何れ切り) (観測所の肉) フルモ屋のメモ

15 内蔵、
- コーキング

170

Just PA

- 新会を江戸
高橋忠嗣 さん
- メン-カキカ-新会
文芸会(江戸)
- 龍洲の活用(月曜)
・ 会長の承認
・ メン-カキカ-新会
・ 1回に10人程度
・ 龍洲室の活用
- 7月1日の龍洲の会合
・ 新会100名
1回に10人程度

8/11

曇ときどき雨

やつと 40cmの望遠鏡がはいつと、写真
で見たよりも小さかった。また、曇ってしまったので
いそいそと早く見たいた。おまけはと11分
これまで バンガン ヤツタネ

8/11

新井

12時30分 江戸をまた。総合に出発した。
土手をういて 17時00分 江戸をまた。
今日も やつと雨だった。早く 40cm が見たい。
40cm 鏡に写った自分の顔で 今日満足(ふう)。
後日の 11レ-彗星に期待して!

8/10

8/11

ミカゲをセツの 2 以上やく 赤道儀を
入れてみた。これと私の肩の骨もあつた
あとは 内装を世をよくして 組み立て
よくして 12 時。40cm では 月しか
今までの 11レ-を じっくり 見よう!!

8/10~11

これで 帰ります。さよなら!!
来週またくる予定で 来週くるという手入は 4 週連続
(実家行き含む)です。

7月

日	曜	月令	天候	来所者	内容
1	月				
2	火	〇朔			
3	水				
4	木				
5	金				
6	土				
7	〇				
8	月				
9	火				
10	水	●下弦			
11	木				
12	金				
13	土				
14	〇				
15	月				
16	火				
17	水				
18	木	●新月			
19	金				
20	土		☆	〇 [redacted] 西特	[redacted] 流通件の性 111111
21	〇			〇	〇12.5 5C 生高 111111
22	月				
23	火				
24	水				
25	木	●上弦			
26	金				
27	土				
28	〇				
29	月				
30	火				
31	水				

6月 来所者

1	土	
2	日	
3	月	朔
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	下弦
11	火	
12	水	
13	木	
14	金	
15	土	
16	日	朔
17	月	
18	火	朔
19	水	
20	木	
21	金	
22	土	
23	日	
24	月	
25	火	
26	水	上弦
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	

内容

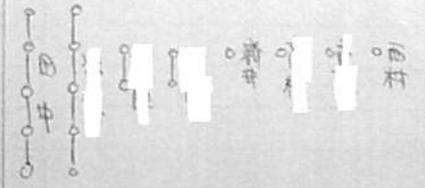
基礎型枠組
" 基礎打ち

型枠書付
埋め込み

外部"-(張り)

5月

日	曜	月	来所者	内容
1	水			
2	木			
3	金			
4	土			
5	日	朔		
6	月			
7	火			
8	水			
9	木			
10	金			
11	土			
12	日	下弦		
13	月			
14	火			
15	水			
16	木			
17	金			
18	土			
19	日	朔		
20	月			
21	火			
22	水			
23	木			
24	金			
25	土			
26	日	朔		
27	月			
28	火			
29	水			
30	木			
31	金			



5-鉄筋入札
5-鉄筋組
5-バス生コン打

5-基礎型枠組

5-コンクリート打
5-仮型目出し

5-基礎型枠組
" "

1985年4月

日	曜	聯	類	来所	者	内容
1	月					
2	火					
3	水					
4	木					
5	金	○期				
6	土					
7	日		調	○田中	○	ピラー交換 ピラー加工打
8	月		調			
9	火					
10	水					
11	木					
12	金	●夜				
13	土					
14	日					
15	月					
16	火					
17	水					
18	木					
19	金					
20	土	●期	調整	○田中	○	足場170, ピラー420撤 ピラー鉄筋組
21	日		調整	○	○	足場組
22	月					
23	火					
24	水					
25	木					
26	金					
27	土					
28	日	●夜	土	市村		星見
29	月					
30	火					
31	水					